

J R連合 N EWS

J R 産業に集う すべての仲間の J R 連合への 総結集を!!

2025 年度

No. 31

2025年10月15日

日本鉄道労働組合連合会

JR連合九州地協第34回定期委員会

強くしなやかなJR産業を築くために

組織と運動を磨き、責任ある活動を全力で推し進めよう!

JR連合九州地方協議会は9月13日、福岡市内で第34回定期委員会を開催し、向こう1年間の活動方針を決定するとともに、新役員を選出した。JR連合からは上村良成会長が出席した。

吉田祥司議長(JR連合副会長・JR九州労組中央執行委員長)は、冒頭のあいさつにおいて安全の確立について触れ、不安全な事象が連続していることについて警鐘を鳴らし、安全のさらなる追求とコンプライアンス遵守を徹底するよう要請した。また、組織強化・拡大の取り組みについて、貨物鉄産労九州地区本部に対して更なる支援を行うことに加え、労働条件改善と産業政策課題について、賃上げの継続やJR二島・貨



吉田議長

物会社の経営自立に向け、支援する議員と連携しながら取り組む必要性を訴えた。

来賓として参加した上村会長は、危機意識を持って安全問題に向き合う覚悟を述べるとともに、2026 春闘に向けた2025春闘の課題として、上場4社と非上場3社の格差拡大、JR7社とグループ各社との格差拡大を挙げ、委託費や契約単価に踏み込んだ議論の展開を要請した。また、政策課題として緊急的に取り組むべき課題の実現に注力する決意を述べた。



上村会長

議事では、川﨑淳史事務局長(JR九州労組中央執行委員)が提起した活動方針(案)等に対して、2名の委員から安全や男女平等に関する発言があり、川﨑事務局長の答弁を経て、全議案が満場一致で承認された。

役員選出では、川﨑事務局長(JR九州労組)が退任し、新たに



井口祥一事務局長(JR九州労組)を選出するなど、新体制を確立した。最後に、再任された吉田議長の団結がんばろうにより委員会を閉会した。